

気軽に文化講座「コミュニティ・カレッジ in 内子」 令和6年度カリキュラム

愛媛大学地域共創研究センター/気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子懇話会/内子町教育委員会 共催プロジェクト
会場はいずれも内子自治センターですが、ライブ配信による聴講を希望される方は、Zoomを利用して聴講できます。

詳しくはうら面をご覧ください。

開催月	講 座 内 容	講 師
6月20日(木) 19:00~20:30	<p>「人々の記憶からたどる小田の芝居小屋」</p> <p>内子町には、現存する内子座や旭館を含め、かつて18の芝居小屋があったとされ、歌舞伎、人形浄瑠璃、芝居、歌謡、サーカス、映画など、時代によって様々な興行がなされ、地域にとって文化・芸能の発信地でもありました。同時に、多くの人々が集まる芝居小屋は、集落の貴重な娯楽の場であり、地域の人々が互いに顔を合わせて結びつきを強めるコミュニティの場でもありました。かつて小田地区にあった八幡座、突合座(又は広徳座・上席)、金壺座、新栄座、広瀬館、朝日座の6座の聞き取り調査をもとに、芝居小屋についてご紹介します。</p>	<p>地域資源マネジメント 学科 観光文化論 井口 梓(准教授)</p>
7月18日(木) 19:00~20:30	<p>「EBPM(エビデンスに基づく政策形成)によるまちづくり ～営農型発電のSIA(社会影響評価)～」</p> <p>概要: データなどを用いた分析や評価を行い、それに基づいた政策形成を行うEBPM((Evidence Based Policy Making, エビデンスに基づく政策形成)が国内の自治体にも取り入れられるようになってきました。まちづくりにおいても、EBPMの考え方は参考になります。そこで、EBPMの定義や歴史、学術的根拠を紹介します。また、具体例として、営農型発電(いわゆるソーラーシェアリング)について、EBPMの発想に基づいたSIA(社会影響評価)の評価例を紹介し、まちづくりにおける適用のあり方について考えます。</p>	<p>環境デザイン学科 環境経済学 入江 眞子(准教授)</p>
8月29日(木) 19:00~20:30	<p>「バショウなどの地域資源を活用した持続可能な農業の構築」</p> <p>日本の食糧自給率(カロリーベース)は38%という厳しい状況ですが、その日本の農業生産を支えている肥料自給率はさらに低く、ほぼ0%です。輸入なしに日本の農業は成り立ちません。肥料原料となる石油やリン鉱石、カリ鉱石の資源は世界的に限られており、大切に使わねばなりません。そのため日本では地域に存在する未利用資源や生物資源を活用し、持続可能な農業を展開する必要があります。内子町では昔からバショウが栽培されていますが、近年、バショウがカリウムを吸収する能力が非常に高いことが分かりました。これを利用することにより、肥料を節約することが可能になります。また、身の回りの未利用資源を活かした農業についてもお話します。</p>	<p>大学院農学研究科 土壌肥料学 上野 秀人(教授)</p>
9月19日(木) 19:00~20:30	<p>「愛媛県で起こりうる災害への備えー能登半島地震を教訓にー」</p> <p>近いうちに南海トラフの地震が必ず発生します。国が想定する巨大地震であれば、愛媛県内で16,000人が犠牲になると想定されています。犠牲者を限りなくゼロに減らすためには、様々な対策を足し合わせ、一人一人が災害を正しく恐れ、備えることが大事となります。本講演では、能登半島地震の現状と、愛媛県で起こりうる災害とそれらの備えについてお話します。</p>	<p>環境デザイン学科 土木計画学 二神 透(准教授)</p>

<p>10月17日(木) 19:00~20:30</p>	<p>「日本の高等教育の光と陰 ～次世代の人材育成を考える」</p> <p>近年、大学を含む日本の教育現場では色々な「改革」が試みられていますが、令和になった今も昭和の色が濃く残っています。知識記憶型・画一的な教育が、高度成長期から数十年間に亘って引き継がれています。しかし、国際・国内情勢の変化、科学技術の進歩、情報技術・AIの広がりが私達の社会環境や価値観に変化をもたらしています。次世代に求められる人材像も大きく変わり、従来型(日本式)教育の弊害が顕在化しています。</p> <p>私たちの教育が世界に遅れないためになにが必要なのか、高等教育における次世代の人材育成の成果と課題、新しい時代に相応しい教育の在り方を、皆さんと一緒に考えてみます。</p>	<p>産業マネジメント学科 経営工学 徐 祝旗 (教授)</p>
<p>11月21日(木) 19:00~20:30</p>	<p>「内子町の景観をどうやって守る?～みんなの財産「公共財」について～」</p> <p>内子町の歴史的な景観は、観光資源としての価値だけでなく、地域の皆さんにとっては、お金に換えられないほどの価値があるかと思えます。この講座では、地域の景観を保全することがなぜ難しいことなのか、将来にわたって地域の景観を保全するためにはどうすべきなのか、という問題について、「公共財」という経済学の概念を使いながら考えていきます。</p> <p>当日は、私が一方的に話すだけでなく、ゲームなどを通じて皆さんと双方向に意思疎通をしながら、地域の問題について一緒に考えていきたいと思えます。</p>	<p>産業マネジメント学科 地域経済学 岡村伊織 (助教)</p>
<p>12月未定 17:30~21:00</p>	<p>シンポジウム「内子町のまちづくり(仮)」(内子町調査学生報告)・懇親会</p>	

- 会 場： 内子自治センター 1階 多目的ホール (全講座)
- 受 講 料： 年会費2,000円/ご興味のある講座のみの受講も可能 (各講座500円) 但し、高校生以下は無料
- 問い合わせ： 内子町教育委員会 自治・学習課 TEL0893-44-2114

気軽にコミュニティ・カレッジ in 内子 懇話会 会長 森長照博 TEL0893-44-2094

- ライブ配信による聴講を希望される方は、受講日前日までに下記のメールアドレスにご連絡ください。

自治・学習課代表メール gakusyujichi-s@town.uchiko.ehime.jp

※お申し込みの際に、高校生以下の学生の方は学校名を、愛媛大学の講座関係の先生・指導学生の皆さまは、その旨を記載してください。

- ホームページID: 0140290



コミュニティ・カレッジは地域のみなさまに
心の豊かさや教養を高めいただくために開催している講座です。
お気軽にご参加ください。